

2018年度 事業報告

2018年度事業報告

■事業部門

1. 学校教育に対する研究・助成事業

[1] 実践研究助成

- (1) 第44回(2018年度) 実践研究助成
- (2) 第44回(2018年度) 実践研究助成 贈呈式
- (3) 研究支援活動
- (4) 報告書評価(第43回一般助成校)
- (5) 成果事例の発信
- (6) 第45回(2019年度) 実践研究助成 募集・選考

[2] 共同研究

- (1) 日本教育工学協会(JAET)との連携による発信強化
- (2) 教育委員会等との普及に向けた発信強化・調査活動
- (3) 新機材活用事例の開発研究

2. こころを育む総合フォーラム

[1] コアメンバー会議

[2] “こころを育む活動”表彰

- (1) 2018年度 子どもたちの“こころを育む活動” 募集・選考
- (2) 2018年度 子どもたちの“こころを育む活動” 表彰式

[3] 全国キャラバン

[4] プレゼンテーションコンクール2018

- (1) プレゼンテーションコンクール2018 募集・選考
- (2) プレゼンテーションコンクール2018 最終選考&表彰式

3. 広 報 関 係

[1] ホームページ等による情報発信

[2] 刊行物

[3] 教育機関、学会、他団体等との連携による情報発信

■管理部門

会 議 開 催

[1] 理事会

[2] 評議員会

(別紙1) 平成30年度(第44回)実践研究助成 助成先一覧(77件)

2018年度 事業報告

■ 事業部門

1. 学校教育に対する研究・助成事業

[1] 実践研究助成

(1) 第44回(2018年度) 実践研究助成

目 的	初等中等教育現場の実践者への支援		
対 象	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、研究センター		
助成件数	77件 助成先は別紙1に掲載	※応募 341件 (採択率22.6%) ※選考会 2018年2月28日、発表 2018年3月20日	
助成金額 助成期間	総額 4250万円	<一般助成校> 50万円 X 73件	2019年4月～2020年3月
		<特別研究指定校> 150万円 X 4件	2019年4月～2021年3月(2年間)

(2) 第44回(2018年度) 実践研究助成 贈呈式

実施日	2018年4月27日(金)
実施場所	パナソニックセンター東京
内 容	<p>① 奨励状の授与</p> <p>② 講演 文部科学省 生涯学習政策局 情報教育課 梅村 研 課長 テーマ「新学習指導要領を踏まえた教育情報化の推進について」</p> <p>③ スタートアップセミナー1部 講演 奈良教育大学 小柳 和喜雄 教授 テーマ「学校での実践研究を効果的に進めていくために」</p> <p>④ スタートアップセミナー2部 グループディスカッション 71校が、校種、地域毎16グループに分かれ、専門委員(29名)も各グループに入り 1年間の実践研究活動の進め方についての討議、助言を行った</p>
参加者	第44回実践研究助成 助成先 (77校中、出席71校) 文部科学省、教育関係団体、財団理事・評議員 選考委員、専門委員 他 計 約150名

(3) 研究支援活動

目 的	助成先での実践研究が効果的に実施されるように各種の研究サポート		
内 容	① 助成校に対するアドバイザー(専門委員)派遣 [通年]		
	・第43回特別研究指定校(2年目)	6校 各3回	
	・第44回特別研究指定校	4校 各3回	
	・一般助成校(希望校)	14校	
	② 一般校向け中間セミナー [2018年8月2日/インテックス大阪]		
	・講演 放送大学 中川 一史 教授 テーマ「プログラミング教育が目指すもの」		※成果報告会時
	・グループディスカッション(参加60校73名、15グループ、専門委員20名)		
	③ 特別研究指定校 中間報告会		
	・第43回特別研究指定校6校による中間報告会、専門委員からの助言		
	④ 報告書提出、HP掲載 [期末]		
	・第44回一般助成校	スクールフォトレポート (年3回)	
		研究成果報告書 (年度末)	
	・第43・44回特別研究指定校	活動報告書 (年3回)	
		研究成果報告書 (年度末)	※2年目終了第43回対象

(4) 報告書評価 (第43回一般助成校)

目 的	多くの学校現場での参考になると考えられる、一般助成先による優れた実践研究の成果を広く発信するために、成果報告書を評価し優秀事例を表彰する
内 容	<p>① 第43回 一般助成校71校からの成果報告書を6名の専門委員で評価 「最優秀」:1校、「優秀」:4校、「佳作」:9校 を選定した</p> <p>② 第43回研究成果報告書優秀校表彰式を実施 (2018年8月2日成果報告会時) ・表彰状授与(小野理事長)、選考講評(早稲田大学 森田 裕介 准教授) ・最優秀校、優秀校によるポスターセッション</p> <p>③ 成果発表に向けてのサポート 表彰校には、JAET(日本教育工学協会)全国大会での成果発表を促し、発表校へは専門委員による発表指導を実施</p>

(5) 成果事例の発信

目 的	多くの学校現場での授業改善に貢献すべく、助成先(一般・特別研究指定校)による優れた実践研究の成果を様々な手法で広く発信する
内 容	<p>① 報告書、専門委員講評を財団ホームページに記載、並びに研究成果報告書を発行(8月)</p> <p>② 第42回特別研究指定校 成果報告会 [2018年8月2日/インテックス大阪] ・2018年3月に2年間の研究を終了した6校、及び専門委員6名からの研究発表 ・第3回 関西教育ICT展との併催による一般来場者に向けての外部発信強化 ・参加者: 第42回~44回 特別研究指定校(計16校) 第43回一般助成校優秀校(11校)、第44回一般助成校(60校) 専門委員28名(内、第42回特別研究指定校アドバイザー6名) 文部科学省、教育関係団体、財団理事他、財団経由の参加者 約170名 関西教育ICT展経由での外部来場者60名を含み全体で約230名</p> <p>③ 全日本教育工学研究協議会全国大会 [2018年11月9日~10日/カルッツ川崎] ・第42回特別研究指定校6校による個別成果発表 ・第43回一般助成校 最優秀、優秀 計4校による個別成果発表 ※その他、第43回特別研究指定校3校、過去の助成校含め計24校が発表 ・第42回特別研究指定校3校によるワークショップ開催(ファシリテーター 武蔵大学 中橋 雄 教授) ・共同研究報告:川崎市教育委員会、ICT CONNECT 21、川崎市立富士見台小学校</p>

(6) 第45回(2019年度) 実践研究助成 募集・選考

目 的	第45回実践研究助成の募集と選考
対 象	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、教育センター
募集期間	2018年12月~2019年1月
選考期間	2019年1月下旬~3月上旬
選考件数	72件 (特別研究指定校5件、一般67件)
内 容	<p>① 応募低調地域に対して記の施策を実施し一定の成果が得られた ・JAET、JAPETの実施する東北・北陸でのセミナーに出向き助成事業の活動をPR ・前年比1.8倍の1.6万枚のリーフレット作成、東北地区の小中学校長に送付</p> <p>② 関西教育ICT展やJAET大会での告知や、新聞社DMシステムを活用した新たな告知も実施</p> <p>③ 申請数355件(特別研究指定校19件、一般336件)、前年341に対し14件増 ・募集活動を強化した地域では、東北 26→41件、甲信越・北陸 12→25件 と前年から増加 ・活用するICT機材は、micro:bit等プログラミング関連機材(20件)、ドローン(4件)と多様化</p> <p>④ 専門委員(51名)による申請書審査後、3月4日選考会議、3月13日理事会にて承認 ・特別研究指定校5件、一般67件の計72件を選定(採択率20.3%)</p>

[2] 共同研究

(1) 日本教育工学協会(JAET)との連携による発信強化

目的	2019年度の全国大会開催自治体との共同研究及びモデル校の授業研究支援を行い、全国大会において、その成果を広く発信		
対象自治体 (助成先)	島根県 (島根県メディア教育研究会)	助成金	150万円
研究テーマ	情報活用能力を育てる授業づくりとICT活用指導力を高める研究の推進		
全国大会	日程:2019年10月18日(金)～19日(土) 主会場:島根県民会館(松江市)		

(2) 教育委員会等との普及に向けた発信強化・調査活動

研究団体・研究者	研究課題	助成金
ICT CONNECT 21 (指導主事サポートのための 基礎研究委員会)	情報教育担当指導主事が抱える問題の解決を目指した 「教育ICT担当者コミュニティサイト」の実装と課題の分析 期間:2018年6月～2019年3月	100万円
中川 一史 (放送大学 教授)	教育委員会での「ICT活用促進リーダー」養成のための マニュアルづくり 期間:2018年6月～2019年3月	100万円
大阪市教育委員会 大阪教育大学	ICTを活用した自尊感情を高める教育モデルの開発 期間:2018年6月～2019年3月	100万円
雲南市教育委員会	タブレットを活用した情報活用力の育成 期間:2018年4月～2020年3月	100万円

(3) 新機材活用事例の開発研究

研究団体・研究者	研究課題	助成金
中橋 雄 (武蔵大学 教授)	対話的な学習活動を促す教師の指導方法と 授業改善に関する研究 期間:2018年6月～2019年3月	100万円
愛知県瀬戸市教育委員会	教員の力量向上 ～新学習指導要領への移行期における デジタル教科書の有効活用～ 期間:2018年10月～2020年3月	150万円

2. こころを育む総合フォーラム

[1] コアメンバー会議

コアメンバー会議	
実施日	第1回 2018年7月5日(木)
	第2回 2018年9月3日(月)
	第3回 2018年12月17日(月)
コアメンバー	鷲田 清一氏、市川 伸一氏、小国 綾子氏、玄田 有史氏、福田 里香氏

[2] “こころを育む活動”表彰

(1) 2018年度 子どもたちの“こころを育む活動” 募集・選考

目的	“こころを育む活動”を募り、全国に紹介する			
対象	学校、NPO団体、PTA等の“こころを育む活動”を行っている団体			
募集期間	2018年7月～9月			
選考期間	2018年10月～12月			
受賞先 (6件)	賞名	団体名(地域)	活動名	副賞
	全国大賞	特定非営利活動法人 パノラマ (神奈川県横浜市)	高校内居場所カフェ ～先生でも親でもない大人がいる、 文化的シャワー提供の場～	賞金 50万円
	優秀賞	こどものまちミニかぬま実行委員会 (栃木県鹿沼市)	こどものまち「ミニかぬま」	賞金 20万円
		非営利任意団体 「生」教育助産師グループ OHANA (愛知県一宮市)	未来ある子ども達の生きる力と心を育 む助産師の「生」と「性」の教育活動	
		大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程 (大阪府堺市)	「ゆめ・チャレ」プロジェクト ～地域の職業体験を通して 「こころを育む」～	
		岡山県立誕生寺支援学校 地域との交流会実行委員会 (岡山県久米郡久米南町)	地域との交流会 ～友だちいっぱい 夢いっぱい みんな なおいでよ誕生寺～	
社会福祉法人 心耕福祉会 (宮崎県北諸県郡三股町)		ソダツバヒカリ ～私たちの未来のためにすべてが つながっていく～		
内容	① 応募総数75件より、6件を選定 ② 募集協力のお願いを、全国小中高校の校長会、道徳教育研究会、各教育委員会、 全国社会教育協議会、日本NPO地域センター、全国公民館連合会等に実施			

(2) 2018年度 子どもたちの“こころを育む活動” 表彰式

子どもたちの“こころを育む活動” 表彰式	
実施日	2019年2月8日(金)
実施場所	東海大学校友会館(東京)
内容	① 村上選考委員長より審査講評 ② 表彰状、楯、賞金の贈呈 ③ 全国大賞・優秀賞の受賞者による活動発表および活動展示 ④ 鷲田座長の講話 ⑤ 交流会
参加者	今年度受賞6団体 選考委員、協力企業、募集協力団体、関係団体、財団役員・評議員等 計約70名

[3] 全国キャラバン

全国キャラバン2018 in 長野(長野県)	
実施日	2018年11月3日(土)
実施場所	長野県 長野市芸術館アクトスペース
内 容	① 全国大賞受賞の長野市立城東小学校による活動報告や合唱の発表 ② 城東小学校や長野ろう学校の先生、城東小 前PTA会長によるパネルディスカッション ③ 城東小学校児童会長による未来宣言
参加者	小野理事長、フォーラム企画運営委員・選考委員 長野市長、城東小学校校長、長野ろう学校先生、現地関係者 約200名

[4] プレゼンテーションコンクール2018

(1) プレゼンテーションコンクール2018 募集・選考

目 的	助成校向け プレゼンテーションを募り、全国に紹介する
対 象	実践研究助成校(小学校、中学校) 学校1校につき二人まで応募可
募集内容	「人との関わりを通して、自分の生き方に影響を与えたこと」をテーマに3分間のプレゼン動画
募集期間	2018年 7月～ 11月
選考期間	2018年11月～12月
内 容	① 応募:小学校の部 11校22名、中学校の部 9校17名 ② 事前選考によって小学校の部5人、中学校の部5人を選出 ③ 応募にあたり、参加賞1000円分図書券を贈呈

(2) プレゼンテーションコンクール2018 最終選考&表彰式

プレゼンテーションコンクール2018 最終選考&表彰式				
実施日	2019年1月12日(土)			
実施場所	パナソニックセンター東京(東京)			
内 容	① 事前選考によって選出された小学校の部5人、中学校の部5人が3分間のプレゼンテーション ② 4名の選考委員による審査(市川 伸一氏、篠ヶ谷 圭太氏、福田 里香氏、小野 元之氏) ③ 賞状、賞金の贈呈 ④ 市川 伸一選考委員長より講評			
受賞者	賞名	小学校の部	中学校の部	副賞
	最優秀賞	山形県高畠町立高畠小学校 大河原 瑠菜	奈良県広陵町立真美ヶ丘中学校 山本 奈々	賞金 10万円
	優秀賞	島根県雲南市立木次小学校 小村 さちこ	大阪府大阪市立新巽中学校 アギルズ マリ	賞金 5万円
	奨励賞	福島県会津若松市立一箕小学校 佐藤 颯太	京都府立南陽高等学校附属中学校 兼久 優海	賞金 1万円
茨城県古河市立上大野小学校 熊倉 葵		京都府立南陽高等学校附属中学校 雑賀 陽斗		
		島根県雲南市立木次小学校 田部 誓一	大阪府大阪市立新巽中学校 楠 和音	

*賞金は、学校振込み

3. 広 報 関 係

[1] ホームページ等による情報発信

ホームページ	財団の活動(募集、贈呈式等)や助成先等の取組内容及び成果を発信			
	閲覧数	251,570ページ	訪問数	91,751人
メールマガジン	毎週発行し、ホームページ掲載の情報を発信			
	配信数	46回	会員数	2,350人

[2] 刊行物

刊 行 物	発 行 月
2018年度 実践研究助成 研究成果報告書	2018年8月
こころを育む総合フォーラム 2018年度 活動報告書	2019年3月

[3] 教育機関、学会、他団体等との連携による情報発信

- ・日本教育工学協会(JAET)の全国大会(神奈川県川崎市)で、助成校による取組みを発表した。
- ・募集活動を通じて、全国の教育委員会及び学校、先生が参加する研究会、PTA、また社会福祉協議会、NPOセンター等に財団活動の内容を発信した。

■ 管理部門

会 議 開 催

[1] 理事会

第31回 理事会	(2018年5月22日)
第1号議案	「特定費用準備資金取扱規則の件」
第2号議案	「特定費用準備資金の設定の件」
第3号議案	「平成29年度事業報告及び決算報告の件」
第4号議案	「平成30年度事業計画に基づく共同研究の件」
第5号議案	「第8回 定時評議員会の開催の件」
報告事項	「職務執行報告(2018年3月～4月)」
第32回 理事会	(2018年12月5日 書面決議)
第1号議案	「平成30年度事業計画に基づく共同研究先の件」
第2号議案	「こころを育む総合フォーラム 平成30年度子どもたちの“こころを育む活動”受賞先の件」
第33回 理事会	(2019年3月13日)
第1号議案	「2019年度事業計画及び収支予算の件」
第2号議案	「特定費用準備資金の設定の件」
報告事項	「職務執行報告(2018年5月～2019年2月)」

[2] 評議員会

第8回 定時評議員会	(2018年6月14日)
第1号議案	「2017年度 事業報告及び決算報告の件」
報告事項	「2018年度 事業計画及び収支予算の件」

(別紙 1)

■ 第44回(2018年度)実践研究助成 助成先一覧(77件) ■

一般 73件 : 小学校 30校、中学校 16校、高等学校 17校、
特別支援学校 9校、教育センター 1件
特別研究指定 4件 : 小学校 2校、中学校 2校

<一般 1カ年、50万円>

小学校 (30校)

都道府県	学校名	都道府県	学校名
青森県	青森市立新城中央小学校	大阪府	大阪市立大空小学校
岩手県	盛岡市立緑が丘小学校	大阪府	大阪体育ICT研究会
山形県	高島町立高島小学校	大阪府	豊中市立新田小学校
福島県	会津若松市立一箕小学校	大阪府	岬町立深日小学校
群馬県	前橋市立細井小学校	兵庫県	伊丹市立瑞穂小学校
東京都	小平市立小平第五小学校	島根県	雲南市立木次小学校
東京都	世田谷区立尾山台小学校	広島県	世羅町立甲山小学校
東京都	世田谷区立烏山小学校	広島県	広島市立藤の木小学校
東京都	東京学芸大学附属小金井小学校	広島県	福山市立日吉台小学校
神奈川県	内田学園七沢希望の丘初等学校	香川県	小豆島町立苗羽小学校
石川県	北陸学院小学校	香川県	高松市立川添小学校
静岡県	静岡市立清水浜田小学校	大分県	中津市立鶴居小学校
愛知県	岡崎市立竜谷小学校	宮崎県	日向市立塩見小学校
愛知県	豊橋市立多米小学校	鹿児島県	徳之島町立手々小学校
京都府	京都教育大学附属桃山小学校	海外	杭州日本人学校

中学校 (16校)

都道府県	学校名	都道府県	学校名
茨城県	鉾田市立旭中学校	大阪府	大阪市立新巽中学校
茨城県	鉾田市立鉾田南中学校	兵庫県	篠山市立西紀中学校
千葉県	木更津市立木更津第二中学校	奈良県	広陵町立真美ヶ丘中学校
東京都	お茶の水女子大学附属中学校	奈良県	五條市教科等研究会技術部会
岐阜県	各務原市地域特別支援教育推進部会	和歌山県	白浜町立三舞中学校
愛知県	岡崎市情報教育推進委員会	鳥取県	北栄町立北条中学校
滋賀県	立命館守山中学校・高等学校	熊本県	長洲町立長洲中学校
京都府	京都府立南陽高等学校附属中学校	海外	在マレーシア日本国大使館附属クアラルンプール日本人会日本人学校

高等学校（17校）

都道府県	学校名	都道府県	学校名
山形県	山形県立米沢東高等学校	京都府	京都府立桃山高等学校
東京都	聖徳学園中学・高等学校	大阪府	大阪市立鶴見商業高等学校
東京都	東京工業大学附属科学技術高等学校	大阪府	大阪市立東高等学校
神奈川県	神奈川県立麻生総合高等学校	島根県	島根県立三刀屋高等学校掛合分校
福井県	福井県立鯖江高等学校	山口県	山口県立岩国高等学校
岐阜県	岐阜県立池田高等学校	福岡県	福岡県立糸島高等学校
愛知県	名古屋市立名古屋商業高等学校	福岡県	福岡県立春日高等学校
三重県	三重県立名張高等学校	大分県	大分県立津久見高等学校
京都府	京都府立久美浜高等学校		

特別支援学校（9校）

都道府県	学校名	都道府県	学校名
北海道	北海道小樽高等支援学校	大阪府	大阪府立大阪北視覚支援学校
東京都	東京学芸大学附属特別支援学校	大阪府	大阪府立豊中支援学校
神奈川県	神奈川県立中原養護学校	奈良県	奈良県立奈良西養護学校
長野県	信州ABA研究会	熊本県	九響ネットワーク
滋賀県	特別支援ICT研究会		

教育センター（1件）

都道府県	学校名
岡山県	岡山県総合教育センター情報教育部

<特別研究指定校 2カ年、150万円>

小学校（2校）

都道府県	学校名	都道府県	学校名
佐賀県	武雄市立武内小学校	岐阜県	岐阜大学教育学部附属学校

中学校（2校）

都道府県	学校名	都道府県	学校名
東京都	八王子市立高尾山学園	新潟県	三条市立大島中学校

2018年度「事業報告の附属明細書」について

2018年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する“事業報告の内容を補足する重要な事項”がないので附属明細書を作成しない。

以上